

草加市公共施設に関する市民ワークショップ かわら版

発行：草加市総合政策部資産活用課 /2016 年 11 月 /第 2 号

第 2 回市民ワークショップを開催しました。

多くの方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

- 第 2 回ワークショップでは、市内の小中学校を例として公共施設の機能について話し合いました。
- 地区ごとの第 2 回ワークショップの参加者は以下のとおりです。

日時	場所	対象地区	参加者数
10/28（金） 19～21 時	谷塚文化センター	草加西部	17 人
		谷塚西部	
		谷塚中央	
11/7（月） 19～21 時	瀬崎コミュニティセンター	草加東部	24 人
		谷塚東部	
11/9（水） 19～21 時	川柳文化センター	新田東部	37 人
		草加川柳	
		草加稻荷	
11/12（土） 16～18 時	原町コミュニティセンター	新田西部	34 人
		草加安行	



第 2 回市民ワークショップではこんなことを話し合いました。

- 第 2 回ワークショップでは、第 1 回で話し合っていた「草加市公共施設等総合管理計画」の 6 つの方針に関連して、より具体的に話し合ってくださいことと、今後、公共施設の多機能化を進めていくにあたって、どのような機能の組み合わせが好ましいのかを検討するための基礎資料とすることを目的に話し合いを行いました。

- 話し合いのテーマは大きく分けると以下の 2 点です。

- ①市内にある小中学校を例として、学校を地域の活動の場と考えたときに、そこでどのようなことがしたいか、どのようなことができると良いか
- ②学校を地域の活動の場として活用するにあたって問題になりそうなこと、懸念されること

- 小中学校を例として話し合いをした主な理由は以下の 4 点です。市内の各地域に分散して立地している学校は、最も身近な公共施設のひとつであり、公共施設の機能について考えていただくには最適であると考えたためです。

- ①市内のどこからも歩いて行ける距離にあること
- ②敷地も建物も大きく多様な機能を有しており、潜在能力が高いこと
- ③児童・生徒の数が減っており、余裕教室が生じることが想定されること
- ④小中学校は耐震化やエアコンの設置などが済んでいるほか、災害時に避難場所となる体育館の天井などの耐震化やトイレの改修等を進めており、当面は現在の建物を使い続けていく必要があること

今回の話し合いの内容は次のように活かしていく予定です。

①学校を使ってやりたいこと

公共施設の多機能化にあたっての機能の組み合わせの検討で活用

②学校の活用で問題になりそうなこと

公共施設等総合管理計画の方針に「懸念事項」として記載

※当日配布した資料は市HPの以下のアドレスにありますのでご興味のある方はぜひご覧ください。

<https://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1211/a03/a01/>

ワークショップで話し合われた主な意見

自由に集まれる場やスポーツ活動の場、多世代交流の場としての利用が比較的多い

- 余裕教室では、地域の人たちが気軽に自由に集まれる場や、子どもたちと高年者などとの多世代交流の場としての利用、校庭・体育館では、スポーツの場や地域のイベントの場としての利用に関する意見が多くみられました。
- 家庭科室や調理室を利用した「子ども食堂」の実施や、給食を子どもたちと地域住民と一緒に食べて交流するなど、「食」をテーマとした利用希望も比較的多くなっています。

■やりたいこと、できると良いことに関する主な意見（一部実施済のものも含まれます）

余裕教室	●地域の人々が気軽に集まれる場 / ●町内会の会議 / ●各種サークルなどの活動の場 ●平成塾などの活動の場 / ●ヨガなどのスポーツの場 / コミュニティカフェ など
家庭科室 ・調理室	●子ども食堂 / ●高年者のための食堂 / ●ふれあいサロンの利用 / ●料理教室 ●独居高年者のためのお弁当づくり など
音楽室	●楽器演奏 / ●カラオケ / ●楽器を使った遊び など
校庭	●球技などのスポーツ場 / ●学校と地域での運動会の合同実施 / ●盆踊り など
プール	●地域に開放 / ●水を災害時のトイレ用水として利用 など

学校利用にあたっては安全の確保や管理体制、利用時間帯、団体間調整などが懸念

- 問題となりそうなこととしては、特に子どもたちの安全性の確保や、事故等の発生時の責任問題、学校と利用時間帯の調整、団体間での利用にあたっての調整などに関する意見が多く出されています。
- また、そうした問題を回避・解決するために地域でできることについては、地域の人材の活用や学校の円滑な利用に向けたしくみづくりへの参画などに関する意見が多くなっています。

■学校利用にあたって問題となりそうなことと問題回避に向けて地域でできることに関する主な意見

	問題になりそうなこと	問題回避のために地域でできること
安全性の確保	●不審者の進入への対処	●地域での見守り、顔の見える関係づくり
責任の所在	●管理責任者をどうするのか	●管理の専従者の配置
教育への影響	●授業や子どもたちの活動への影響	●子ども中心のルールづくり
利用時間帯	●授業をしている時間帯は利用できない ●中学校の校庭は土日は部活等で使えない	●利用調整のための学校と地域、利用団体等で構成する協議会組織の設立
団体間調整	●既存団体で利用が埋まっている	●地域が主体となった利用のしくみづくり
その他	●子ども用の設備・備品の使いにくさ ●駐車場・駐輪場の不足 ●調理室等の利用における衛生面の管理	●利用にあたっての費用負担

その他にこんな意見もありました。

- 学校は子どもたちの教育の場なので、子どもたちのことをまず第一に考えるべき。
- 学校を多機能化するべきではない。むしろ、統合し、残った施設に学校以外の機能を入れるべき。
- 学校に関することは、学校関係者、子どもたちや保護者などに意見を聞くことが必要。
- 先進事例や既に複合化されている小学校を検証し、複合化することの効果や問題点の洗い出しをすべき。



※当日の会議で出された全意見をまとめた資料が市HPの以下のアドレスにあります。興味のある方はぜひご覧ください。
<https://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1211/a03/a01/>